



## 「平成28年度 主任保育士研修会」報告書



【期 日】平成28年8月5日（金）

【会 場】アバンセホール

【主 催】佐賀県保育会

【参加者数】136名

### 【内 容】

研修1 10:00～10:20

「基調報告」

指山 健次郎 氏（佐賀県保育会会長）

研修2 10:30～12:00、13:00～16:00

「人を育てることは、保育者が育つことへ

実習生そして保育者の実践力・思考力・専門性を高める実習指導」

講師 増田 まゆみ 氏（東京家政大学 家政学部 児童学科 教授）

講師 小櫃 智子 氏（東京家政大学 子ども学部 子ども支援学科 准教授）



### 研修1『基調報告』

講師 指山 健次郎 氏（佐賀県保育会会長）

- 1、佐賀県保育会とは
- 2、国における保育の動向
- 3、佐賀県こども未来課、保育の新規取組み
- 4、主任の先生方へ

主任保育士は、現場の中心的存在である。

- ①挨拶・笑顔・元気
- ②園長との関わりを強くすることが大切
- ③保育士や各クラスの状況を把握する
- ④保護者への対応



## 研修2『人を育てることは、保育者が育つことへ』

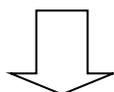
### 実習生そして保育者の実践力・思考力・専門性を高める実習指導』

講師 増田 まゆみ 氏 (東京家政大学 家政学部 児童学科 教授)

講師 小櫃 智子 氏 (東京家政大学 子ども学部 子ども支援学科 准教授)

#### ・研修の目的

保育士養成課程における保育所の実習指導者としての態度や指導技術を学び、実践力を高めることを目的とする。



実習指導を通して、保育者の専門性、保育の質を高める方法を具体的に提示し、保育実践に繋がるよう講義・演習を統合して行う。

#### ① 《参加型研修》

- 1) DVD 視聴【園庭で、1、2歳児が遊んでいる近くにあひるがいる様子】
- 2) 気づいたこと・感じたことを書き出す。
- 3) グループを作り、気づいたこと・感じたことを報告し、発表する。
- 4) 反省会で実習生に、この場面の状況をどのように説明するか書き出す。
- 5) グループで報告し、発表する

※保育士同士、対話を重ねていくためには可視化したもの（記録したもの）がないと十分に検討ができない。可視化するというを、いろいろな場面でやっていく。

協働…相手の専門性、立場を尊重しながら同等の立場でいろいろなものを言い合い、検討しそして一つの目的に向かって取り組んでいく。



## ② 実習指導のポイント 実習指導も、実習生の理解が大切。

- 1) 実習生が子どもと心通わす体験を重視する。
- 2) その場の状況に応じて、適切な指示や助言、疑問への応答をこころがける。
- 3) 実習生とともに保育や子どもに関して振り返り、実習生と対話する事を重視する。

※同僚性（実習生であってもここにいる仲間の一人）もって受け入れる体制

※実習生との出会いが、オリエンテーションである。



## ③ 《参加型研修》

- 1) DVD 視聴

【11月のある日の園庭で、4歳児がリレーの走る順番を話し合っている様子】

- 2) この場面を、日誌の「反省・感想・考察」の欄に実習生になったつもりで書く。
- 3) グループで、交換し読み合う。
- 4) 実習指導者として、コメントを書き、発表する。
- 5) 1歳児クラスに入った実習生の日誌にコメントを書く。
- 6) グループで報告し、発表する。

※子ども理解、発達理解が基本になる。

※保育者として基本的に大切にしていることを、相手の状況に合わせてどう語れるかという事に実習指導がしっかりと相手との繋がりの中で出来るという事は、園の中での職員の育成、保護者との関わりの中にも繋がっていく。

## ④ 保育の過程を体験する(部分・責任実習の指導)

- 1) DVD 視聴（責任実習の実際）

【4歳児、マラカス作りからリズム遊びへ】

～実習生の特技を生かした責任実習～

【お店屋さんごっこから、かばんづくりへ】

～自由な遊びの中での活動展開へ～



- 2) 指導案立案の指導

- 1、日々の保育の流れを踏まえた指導案立案

↳ 実習生なりに日々の保育を考える、かけはなれた指導案にならないようにする。

- 2、子ども理解を踏まえた指導案立案

- 3、事前の相談の重視（子ども理解には、保育者の相談が必要）

→ 指導案立案の思考を学ぶ

## ⑤ 《参加型実習》

- 1) 保護者支援・地域子育て支援について実習生が理解するために、取り組んでいる事を書く。
- 2) グループで報告する。

## ⑥ 実習の振り返り

- 1) 日々・中間・最終の振り返り（次の実習の学びにつながる）
- 2) 「対話」を重視した振り返り（保育を振り返り共に保育を考える）



## ⑦ 実習の評価

- 1) 評価の意義…評価という事は、次の学びに生かすためにとっても重要である。
- 2) 評価の実際



## ◎効果及び評価

私自身、実習指導についての研修は初めてで改めて実習指導の大切さが分かった。また、今回グループ討議で沢山の先生方の意見を聞くことができ、大変勉強になった。今回の研修を生かして実習指導を行い、同僚性をもって対話を重視した保育の振り返りができるよう努めていきたい。



（文責：たちばな保育園 奥 奈津紀）